

# 2014 年度研究助成募集要領

公益財団法人日工組社会安全財団

## 1. 助成の趣旨

公益財団法人日工組社会安全財団（以下「当財団」という。）は、公共の安全と秩序の維持に寄与することを目的としています。平易に申せば、人々が犯罪と関わらずに安全で安心して生活できる社会の実現が私たちの目的です。安全で安心な社会の実現には、民・官を問わない多様な活動が必要です。この研究助成は、そのような活動を一層的を射たものにするための理論的根拠及び実証的根拠を提供する研究を振興することを目的としています。

## 2. 研究分野

少年の非行防止対策、子ども・少年・女性・高齢者が被害者となる犯罪等の防止対策、安全安心な街づくり対策、組織犯罪対策、銃器薬物犯罪対策、犯罪の国際化への対策、犯罪被害者支援対策等に関連する研究をはじめ、助成の趣旨にかなう幅広い分野の研究を対象とします。  
なお、過去の研究助成実績は、当財団ウェブサイトに掲載しています。

## 3. 募集期間

2013 年 11 月 1 日（金）～ 同年 11 月 30 日（土）（当日消印有効）

## 4. 応募方法

応募には、ウェブ申請と書面郵送の両方が必要です。

当財団ウェブサイトの研究助成のページから「研究者登録」を行った上で、募集期間内に「助成申請登録」、「助成申請書様式の入手・郵送」の順で手続きをしてください。

なお、提出された申請書類は、採否にかかわらず返却しませんのでご了承ください。

ウェブサイト：<http://www.syaanken.or.jp/kenkyu/>

申請書類の送付先：〒101-0047

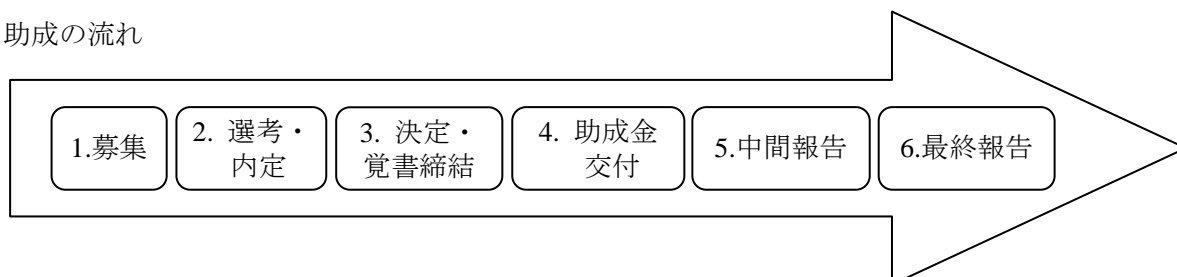
東京都千代田区内神田 1 丁目 7 番 8 号 大手町佐野ビル 6 階

公益財団法人日工組社会安全財団事務局 一般研究助成

又は 若手研究助成 募集係

注：封筒の裏面余白に申請者の「氏名」を明記してください。

助成の流れ



## 5. 助成種別、助成額、助成期間

当財団の研究助成には、下記の 2 種類があります。両者の研究分野は同一ですが、「若手研究助成」は特に若手の研究者の育成を目的として設けたものです。

助成種別	一般研究助成	若手研究助成
助成の対象	個人研究又はグループによる研究	35 歳以下の若手研究者・大学院生による個人研究
1 件当たりの助成額	300 万円を上限とする	100 万円を上限とする
助成期間	2014 年 4 月の助成金の振込日 ～ 2015 年 10 月 31 日	

## 6. 応募資格

### (1) 一般研究助成・若手研究助成に共通する項目

- 1) 当財団からの日本語による問合せに対応できること
- 2) 助成金額の全額を研究費に充てること(所属研究機関によるオーバーヘッドは認めない。)
- 3) 申請者が次のいずれかに該当する場合は、審査の対象から除外され、採択の決定が取り消されます。
  - (a) 同一の課題名又は内容で、既に科学研究費等の競争的資金及び他の民間財団からの助成金を受けているか、又は採択が決定している。
  - (b) 2013 年度の当財団研究助成に研究代表者として採択された。

### (2) 一般研究助成

次の条件に該当する個人又はグループとします。

- 1) 2.研究分野に記載した分野に関する研究者、実務家、ボランティアであること
- 2) 修士課程(博士前期課程)修了又は同等の研究能力があること
- 3) 国籍は問わないが、申請者が日本国内に居住し、かつ国内に継続的な研究又は活動の拠点を有すること

### (3) 若手研究助成

次の条件に該当する個人とします。

- 1) 大学院に在籍しているか、又はその課程を修了した研究者で、2014 年 4 月 1 日現在において満 35 歳以下であること
- 2) 国籍及び日本国内に居住の有無は問わない。

## 7. 所属機関長及び推薦者の承認

申請に際しては、所属する機関の長の承認を受けてください。承認者は、大学の学長、学部長(大学院研究科長、附置・付属研究所長を含む。)、試験研究機関の代表者又はこれに準ずる方とします。学生の場合は、指導教官又は研究科長とします。

若手研究助成に応募する方で推薦者がいる場合には、推薦状に推薦者の押印をもらってください。

## 8. 助成金の交付

採択決定後に所定の手続きを経て、2014 年 4 月下旬を目途に、申請者が所有する日本国内の銀行口座へ振込みます。

（注）当助成金は、研究者個人に対して交付するもので、大学等に直接寄附する奨学寄附金等の方式は原則として採りません。但し、当助成の条件を遵守することを前提として、研究代表者が所属研究機関に奨学寄附金等として再寄附して利用することは認めます。この場合、再寄附した助成金については、研究代表者が当該機関から移動した場合は研究代表者に移し替えることとし、研究終了後に残額が生じている場合は 2015 年 12 月 25 日までに当財団へ返還してください。

## 9. 助成金の使途

助成金の対象となる経費は、助成対象研究（以下、当該研究という。）の遂行に直接必要な経費とします。当財団は、助成金を全額研究費に充てていただく方針のため、所属機関の間接経費、事務経費、オーバーヘッドは助成金の経費として認めません。申請者は事前に所属機関へ確認し、採択後に必ず免除手続きを行ってください。

- （1）領収書（原本）を提出できること、当該研究に特化した費用であることを証明できることを条件とします。

他の使用目的による使途と区別が困難な経費、汎用的に利用可能な物品・研究者が通常備えるべき物品を購入するための経費は助成対象外とします。

具体例及び詳細は「研究助成費細則」をご参照ください。

- （2）領収書の提出については、公共交通機関（タクシーを除く）利用時の、片道運賃合計額が 1,000 円以下の場合は、免除します。

## 10. 申請者の義務等

助成金を受けた方にご承知いただきたい事項は下記のとおりです。

- （1） 報告書類の提出

申請者は当財団と覚書を締結し、研究の計画、進捗、成果及び助成金の使途に関する詳細な報告を、採択後に配布する指定様式により提出して頂きます。

また、報告の際は、資料（調査票のひな形、単純集計結果、自由記述データ等）及び領収書（原本）を添付してください。

- （2） 研究成果の発表

- 1) 当財団の助成により得られた研究成果の積極的な公表をお願いします。研究を公表する際は、当財団から研究助成を受けた旨を明記してください。英文の場合、例えば下記のような Acknowledgement をお願いします。

This work was (partially) supported by The Nikkoso Foundation for Safe Society.

- 2) 別刷り等を作成した際は 1 部を当財団にお送りください。
- 3) 当財団研究助成の成果に基づく特許又は実用新案などの知的財産権に関し、当財団は権利を主張しません。
- 4) 提出された研究計画概要及び研究報告書（PDF 形式、一般研究助成 36,000 字～40,000 字、若手研究助成 18,000～20,000 字）は当財団ウェブサイトに掲載します。また研究成果概要は国立情報学研究所の「民間助成研究成果概要データベース」へ登録、公開します。

(3) 変更に係る連絡

研究の遂行及び助成金の支出は、申請書に記載したとおりに行うことを原則とします。研究内容及び使途の変更には、当財団の事前承認を要します。

また、助成期間中に、所属機関の移動等が生じた場合は、遅滞なく当財団まで連絡してください。

(4) 剰余金の返還

研究終了後、助成金に残額が生じている場合は、2015 年 12 月 25 日までに当財団へ返還してください。

## 11.義務違反に対する措置

次の場合、助成金の全額又は一部の返還を求めることがあります。また、採択年度の翌年度以降の応募資格を失うことがあります。

- (1) 交付を受けた助成金を、当該研究以外の用途に費消したとき
- (2) 当該研究について、遂行を中止したとき、著しく規模を縮小したとき、及び遂行の見込みが立たないとき
- (3) 研究テーマ、研究内容に著しい変更が認められたとき
- (4) 申請書に記載すべきことを故意に記載せず、又は虚偽の記載をしたことが判明したとき
- (5) 助成対象者としての義務に著しく反する行為があったとき

## 12.選考方法等

(1) 助成対象研究の決定

当財団に設置した研究助成選考委員会の審査を経て、当財団理事会で決定します。

選考委員

委員長	前田 雅英	(首都大学東京教授 刑事法学)
委員	耳塚 寛明	(お茶の水女子大学理事・副学長 教育社会学)
委員	村松 励	(専修大学教授 犯罪心理学)
委員	矢島 正見	(中央大学教授 犯罪社会学)
委員	山本 俊哉	(明治大学教授 都市工学)

(2) 助成金の査定

- 1) 選考の過程で必要な事項について、問い合わせ又は対面によるヒアリングを行うことがあります。
- 2) 申請金額を減額査定した場合は、減額後の金額による助成の諾否を、申請者に問い合わせます。問い合わせの時期は 2014 年 2 月中の予定です。

(3) 採否の通知

2014 年 3 月に開催を予定している当財団理事会において決定した後、直ちに全申請者に対して、採否を電子メールで通知します。採否の理由等のご照会には回答いたしかねますのでご了承ください。なお、助成対象の一覧は、当財団ウェブサイト内に掲載します。

## 13. その他

### (1) 個人情報の取扱い

- 1) 応募書類から得た応募者の個人情報は、選考、審査、本人への連絡、事務作業、及び次年度以降の募集案内を送付する際に使用します。
- 2) 上記の個人情報は、法令で認める場合を除き、本人の同意なく上記目的以外に使用することはありません。

### (2) 本募集に関する照会先

本募集に関するご質問等は、下記のウェブサイト内の専用問合せフォームにより受け付けます。

募集期間中は問い合わせが集中します。時間に余裕をもってお問い合わせください。また、個別には対応しかねる場合がありますことをご了承ください。

ウェブサイト：<http://www.syaanken.or.jp/kenkyu/>

以上